

核融合炉・遮蔽定数サブW. G. (DDX)

第4回会合議事録

1. 日 時 昭和57年1月27日(水) 11:00~17:00
2. 場 所 原研東海研 研究2棟335号室
3. 出席者 8名(順不同, 敬称略)  
中沢, 井口(東大), 菊地, 山野, 大山(原研), 大村(石川島)  
中田(川重), 南(富士通)

4. 配布資料

FAIR-CROSS による DDX の作成について (南)

5. 議 事

本日の会合趣旨は DDX 作製コードを実際に動かすという習熟訓練及びそれをベースにして DDX の実測値と比較するための出力作りの点にあることが説明され作業に入った。

① まず南委員より配布資料を用いて入力及び図形出力の行ない方の解説があった後、実際に動作チェックを行なった。

② この動作チェックは、今後も各委員が独自に可能となる様に端末用 Load manual の作製を南委員に依頼した。(菊地さんのところに保管の予定。)

③ Total DDX の計算及び出力部の追加については、実測値との比較様式を考慮して井口, 大村, 中田, 南委員にて検討してもらうこととなった。(3月末完成予定)

④ FAIR-CROSS を改良して作製された, この DDX 作製コードを当面 FAIR-DDX<sup>(\*)</sup> と仮称することとした。

(\*, 普及させるためには少し滑らかではない発音なので更に検討の必要性あり, 中沢注)

⑤ 以上のような作業を進めるに当り, 必要性を生じ且つ可能であったら年内にもう一度本 sub W. G. を開催することとした。

以 上